

書籍紹介

『幸福な田舎のつくりかた』
地域の誇りが人をつなぎ、
小さな経済を動かす』

食環境ジャーナリスト、
食総合プロデューサー
金丸 弘美 著

学芸出版社刊

(2012年9月15日発行)

定価…1800円+税



高齢化や経済の衰退が地方の課題として叫ばれて久しい。しかし、その中においても、地域内外との交流を生み出し、地元産品の売り上げを伸ばしている地域が存在する。これら地域の共通項は、地域の人が自ら行動を起こし、人や資源をつなぎ、人材教育に力を入れてお金と時間をかけて人を育て、地域を誇ることによって共感と呼んでいるところであると筆者は指摘する。

本書は、アル・ケッチャーノ、庄内映画村、阿蘇一の宮門前町商店街、萩しーまーと、四万十ドラマ、小説「県庁おもてなし課」など著者自らが取材した各地の元気な事例から、人が集まり小さいながらも経済が巡り雇用が生まれる「田舎のつくりかた」が学べる1冊である。